

中空知定住自立圏構想の進捗状況及び 中空知定住自立圏共生ビジョンの改訂案について

2 具体的な事業と内容

I 生活機能の強化に係る政策分野

1. 医療

基本目標	中空知圏における救急搬送の完結 患者流出の割合 1.6% (平成 27 年度) ⇒ 1.6% (平成 29 年度)
------	--

H28 年度の 達成状況	1.1%
-----------------	------

(1) 救急医療の維持確保対策

協定の 内容	(取組の内容) 圏域の初期救急医療体制を確保するため、休日・夜間救急診療体制を維持するとともに、圏域住民に対して救急医療知識の普及啓発を図る。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 休日・夜間救急診療体制を維持するため、医師会等に委託して、初期救急医療の体制確保と圏域住民への救急医療啓発を行う。圏域における二次救急医療体制の維持確保を図る。
	(乙の役割・歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 甲が行う休日・夜間の初期救急医療体制の維持確保について、必要な協力と応分の経費を負担する。

重要業績 評価指標 (KPI)	在宅当番医制 (救急診療当番制) の参加機関数 32 機関 (平成 27 年度) ⇒ 20 機関 (平成 28 年度) ⇒ 20 機関 (平成 29 年度)
-----------------------	---

H28 年度の 達成状況	20 機関
-----------------	-------

- I- 1- (1) ア 在宅当番医制運営事業
イ 病院群輪番制運営事業
ウ 小児救急医療体制支援事業

(2) 圏域医療体制の充実

協 定 の 内 容	(取組の内容) 圏域住民が安心して暮らせるよう、圏域医療体制の充実を図るとともに、ICTを活用するなど共有する診療情報を有効に活用し、質の高い医療を提供する。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 圏域医療における役割分担の下、医療連携を強化し、病院間で相互支援を行うことにより医療体制の充実を図る。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町) 圏域医療における役割分担の下、医療連携について、必要な協力と応分の経費を負担する。

重要業績 評価指標 (KPI)	中心市から近隣市町への医師派遣回数 434回(平成27年度) ⇒ 480回(平成29年度)
-----------------------	--

H28年度の 達成状況	480回
----------------	------

I-1-(2) ア 医療体制の充実

I-1-(1) ア 在宅当番医制運営事業

事業内容		平日夜間と休日における内科・外科系の救急診療当番制事業を実施するとともに、初期救急医療体制の維持確保及び地域住民への救急医療の啓発普及を図る。
効果		平日夜間と休日における初期救急医療の体制確保と地域住民への救急医療啓発によって、地域住民の生命に対する安全性と安心感の向上が図られる。
役割分担	滝砂	関係市町からの負担金の取りまとめを行うとともに医師会等への委託料の支払い事務を行う。
	関係市町	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		普通交付税密度補正 I の一部適用 (H26 のみ)

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
救急医療啓発普及事業	芦別市	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	9,750
救急医療啓発普及事業	赤平市	2,879	2,879	2,879	2,879	2,879	14,395
救急医療啓発普及事業	滝川市	2,876	2,728	2,729	2,735	2,735	13,803
在宅当番医制運営事業		3,500	3,500	3,500	3,600	3,600	17,700
休日夜間急病センター運営事業		24,709	0	0	0	0	24,709
休日夜間初期救急維持確保事業			32,403	32,011	32,467	32,467	129,348
在宅当番医制運営事業	砂川市	2,167	2,158	2,181	2,131	2,131	10,768
救急医療啓発普及事業	歌志内市	250	273	251	264	264	1,302
救急医療啓発普及事業	奈井江町	351	335	334	359	359	1,738
救急医療啓発普及事業	上砂川町	208	210	209	216	216	1,059
救急医療啓発普及事業	浦臼町	188	189	189	192	192	950
救急医療啓発普及事業負担金	新十津川町	664	638	641	644	644	3,231
救急医療啓発普及事業負担金	雨竜町		174	174	170	170	688
	他						
	合計	39,742	47,437	47,048	47,607	47,607	229,441

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	芦別市、赤平市は、各市立病院にて実施した。 滝川市、新十津川町（除く花月地区）、雨竜町（H27.4～）は、滝川医師会にて実施した。 砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町（花月地区）は、空知医師会にて実施するとともに救急医療の啓発事業として、救急医療講演会を開催した。 奈井江町は、町内開業医（3 診療所）と町立病院とにより休日当番制で対応した。
H29 年度の 主な取組	H28 年度と同様の取組みを予定している。
H30 年度以降の 取組予定	H29 年度と同様の取組みを予定している。
事業における 課題等	特になし。

I-1-(1) イ 病院群輪番制運営事業

事業内容		中空知圏域における第二次救急医療を実施する公的医療機関等の長期的かつ安定的な医療体制を確保する。 ※現状の当番病院は、砂川市立病院、滝川市立病院、滝川脳神経外科病院、あかびら市立病院、市立芦別病院
効果		中空知圏域の第二次救急医療体制の確保が図られる。
役割分担	滝砂	砂川市の役割 関係市町からの負担金の取りまとめ、医療機関への交付金の支払い事務
	関係市町	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		普通交付税の単位費用

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
病院群輪番制運営事業	芦別市	3,040	3,040	3,038	3,032	3,032	15,182
病院群輪番制運営事業	赤平市	2,979	2,991	2,979	2,975	2,975	14,899
病院群輪番制運営事業	滝川市	4,082	4,107	4,099	4,102	4,102	20,492
病院群輪番制運営事業	砂川市	5,059	5,082	5,064	5,060	5,060	25,325
病院群輪番制運営事業	歌志内市	225	224	222	220	220	1,111
病院群輪番制運営事業	奈井江町	253	253	252	252	252	1,262
病院群輪番制運営事業	上砂川町	219	219	217	216	216	1,087
病院群輪番制運営事業	浦臼町	196	197	197	196	196	982
広域救急病院群輪番制運営事業負担金	新十津川町	267	269	269	269	269	1,343
病院群輪番制運営事業	雨竜町	206	206	205	205	205	1,027
	他						
	合計	16,526	16,588	16,542	16,527	16,527	82,710

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	砂川市が事務局となり、関係市町から負担金を徴収し、参加病院である砂川市立病院、滝川市立病院、あかびら市立病院、市立芦別病院及び滝川脳神経外科病院に対し、参加割合に応じ事業費を交付した。
H29 年度の 主な取組	H28 年度と同様の取組みを予定している。
H30 年度以降の 取組予定	H29 年度と同様の取組みを予定している。
事業における 課題等	利用実態に即した負担割合への見直しが必要。※砂川市記載

I-1-(1) ウ 小児救急医療体制支援事業

事業内容		小児重症患者の休日及び夜間における受入れ医療機関を決定し、中空知圏域の第二次救急医療体制を確保する。 ※現状の当番病院は、砂川市立病院、滝川市立病院、あかびら市立病院
効果		中空知圏域の小児の第二次救急医療体制の確保が図られる。
役割分担	滝砂	砂川市が 関係市町からの負担金の取りまとめ、各医療機関への交付金の支払い事務、北海道補助金申請事務を行う。
	関係市町	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		※2/3 が道費補助金、1/3 が各市町負担金 (平成 28 年度～道費補助金：43.6%、各市町補助金：56.4%) 小児救急医療対策事業費補助金

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
小児救急医療支援事業	芦別市	70	70	69	68	68	345
小児救急医療支援事業	赤平市	335	336	335	335	335	1,676
小児救急医療支援事業	滝川市	1,150	1,156	1,153	1,153	1,153	5,765
小児救急医療支援事業	砂川市	1,089	1,095	1,091	1,090	1,090	5,455
小児救急医療支援事業	歌志内市	40	39	39	39	39	196
小児救急医療支援事業	奈井江町	44	44	44	44	44	220
小児救急医療支援事業	上砂川町	38	39	38	38	38	191
小児救急医療支援運営事業	浦臼町	35	35	35	35	35	175
小児救急医療支援事業負担金	新十津川町	47	47	47	47	47	235
小児救急医療支援事業	雨竜町	36	36	36	36	36	180
	他						
	合計	2,884	2,897	2,887	2,885	2,885	14,438

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	砂川市が事務局となり、関係市町から負担金を徴収し、参加病院である砂川市立病院、滝川市立病院及びあかびら市立病院に対し、参加割合に応じ事業費を交付するとともに北海道に対し補助金申請事務を行った。
H29 年度の 主な取組	H28 年度と同様の取組みを予定している。
H30 年度以降の 取組予定	H29 年度と同様の取組みを予定している。
事業における 課題等	利用実態に即した負担割合への見直しが必要。※砂川市記載

I-1-(2) ア 医療体制の充実

事業内容	圏域の医療資源を有効に活用し、圏域住民が安心して暮らせるよう、医療体制の充実を図るとともに、ICTを活用するなど共有する診療情報を有効に活用し、質の高い医療を提供する。	
効果	圏域医療における役割分担のもとに、地域における医療体制の充実を図るとともに、医療情報の共有を促進することにより、連携する医療機関で相互に参照することが可能となり医療情報連携の緊密化が図られる。	
役割分担	滝砂	病院間における医療連携や相互支援を図るとともに必要な協力をを行い、医療情報の共有化とネットワークの充実を図る。
	関係市町	病院間における医療連携について、必要な協力や支援を図る。 各病院間で応分の経費を負担する。
補助制度等	医師の派遣を受ける経費（旅費等）の1/2が特別交付税措置	

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
医師等派遣・支援事業	芦別市	6,600	6,390	6,955	12,371	12,371	44,687
地域医療ネットワーク基盤整備事業		0	21,200	302	302	302	22,106
医師等派遣・支援事業	赤平市	5,342	8,700	9,780	10,088	10,088	43,998
地域医療ネットワーク基盤整備事業		0	31,920	657	657	657	33,891
医師等派遣・支援事業	滝川市	20,826	22,395	21,697	20,926	20,926	106,770
地域医療ネットワーク基盤整備事業		0	30,240	796	1,061	1,061	33,158
医師等派遣・支援事業	砂川市	50,459	58,527	60,663	59,526	59,526	288,701
地域医療ネットワーク基盤整備事業		21,200	16,576	2,295	2,295	2,295	44,661
地域医療ネットワーク基盤整備事業	歌志内市	0	0	0	0	0	0
小児科診療委託	奈井江町	1,968	2,703	2,850	2,850	2,850	13,221
地域医療ネットワーク基盤整備事業		0	21,200	226	302	302	22,030
	上砂川町						
	浦臼町						
	新十津川町						
	雨竜町						
	他						
	合計	106,395	219,851	106,221	110,378	110,378	653,223

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	<p>砂川市立病院派遣実績 派遣先：滝川市立病院 産婦人科 145 回、市立芦別病院 耳鼻咽喉科 46 回 あかびら市立病院 泌尿器科 48 回、整形外科 100 回 奈井江町立国保病院 小児科 47 回、（市立美唄病院 産婦人科 97 回）</p> <p>滝川市立病院派遣実績 派遣先：あかびら市立病院 麻酔科 36 回、市立芦別病院 整形外科 48 回</p> <p>あかびら市立病院派遣実績 派遣先：市立芦別病院 外科 10 回</p>
H29 年度の 主な取組	<p>平成 29 年度も同様に派遣予定。 芦別市、赤平市、歌志内市、砂川市、滝川市、奈井江町が構築した地域医療ネットワークシステムを自治体病院以外の病院・診療所・歯科診療所で運用拡大(H29.7～)。</p>
H30 年度以降の 取組予定	<p>地域医療連携ネットワークシステムの運用 (H28.7～)。※砂川市記載 H30 年度以降も同様に派遣予定。</p>
事業における 課題等	<p>各自治体における地域医療情報ネットワークシステムを管内介護事業所等へ拡大すべきかの検討。※砂川市、奈井江町記載 派遣元病院の医師確保。※砂川市記載</p>

I 生活機能の強化に係る政策分野

2. 福祉

基本目標	出生者数 550 人（平成 27 年） ⇒ 591 人（平成 29 年）
------	---

H28 年度の 達成状況	550 人
-----------------	-------

(1) 障がい者福祉の推進

協 定 の 内 容	（取組の内容） 障がい者の自立と障がい児の早期療育を促進するため、地域活動支援センター及び相談支援事業所、障害児通所支援事業所の広域利用を進め、安定した事業運営を図る。
	（甲の役割・滝川市、砂川市） 地域活動支援センター及び相談支援事業所、障害児通所支援事業所の広域利用に関する連携に努め、連携に関する調整や助言を行う。
	（乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） 地域活動支援センター及び相談支援事業所、障害児通所支援事業所の広域利用に関する連携に努める。

重要業績 評価指標 （KPI）	地域活動支援センターの通所利用者数 6,223 人（平成 27 年度） ⇒ 6,400 人（平成 29 年度）
-----------------------	--

H28 年度の 達成状況	6,240 人
-----------------	---------

- I-2-(1) ア 障がい児通所支援事業
イ 地域活動支援センター事業及び相談支援事業

(2) 保育所広域入所事業

協 定 の 内 容	(取組の内容) 保育所の相互利用を可能とし、日常生活圏の拡大や住民ニーズの多様化に対応し、圏域の子育て支援の取組を推進する。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 保育サービスの充実と連携に努め、円滑な広域入所の取組に努める。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 保育サービスの充実と連携に努め、円滑な広域入所の取組に努める。

重要業績 評価指標 (KPI)	中空知圏域における保育所数 18 箇所（平成 27 年度） ⇒ 17 箇所（平成 29 年度）
-----------------------	--

H28 年度の 達成状況	17 箇所
-----------------	--------------

I-2-(2) ア 保育所広域入所事業

I-2-(1) ア 障がい児通所支援事業

事業内容		<p>心身の発達や成長の遅れに心配のある子どもに対して、発達状況に応じて保護者や関係機関と連携を図りながら、日常生活における基本的な動作や集団生活への適応に関する指導などを行い、家庭や地域で健やかに育っていくための支援を行う。</p> <p>現状 滝川市、雨竜町：こども発達支援センター～児童発達支援、放課後等デイサービス、障害児相談支援、市町村発達支援センター事業、理学療法士と言語聴覚士を配置</p> <p>砂川市、1市4町：子ども通園センター～児童発達支援、放課後等デイサービス（歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町）</p> <p>芦別市：児童デイサービスセンター</p> <p>赤平市：子育て支援センター</p>
効果		子どもの心身の育成を助長することを目的としたセンターの安定した事業運営の確保が図られる。
役割分担	滝砂	子ども通園センター等を設置、運営管理する。
	関係市町	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		<p>地域づくり総合交付金（発達支援センター事業補助金）：北海道補助金</p> <p>子ども発達支援事業専門支援事業費補助金：北海道補助金</p>

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
児童デイサービスセンター管理運営業務に要する経費・市町村負担金	芦別市		756	755	880	880	3,271
	赤平市			0	0	0	0
こども発達支援センター事業	滝川市	46,434	48,681	41,730	44,804	44,804	226,453
子ども通園センター運営管理事業	砂川市	15,373	17,828	19,421	25,961	25,961	104,544
子ども通園センター事業負担金	歌志内市	29	115	350	948	948	2,390
子ども通園センター事業負担金	奈井江町	60	216	653	1,351	1,351	3,631
子ども通園センター事業負担金	上砂川町	47	187	527	1,247	1,247	3,255
子ども通園センター事業負担金	浦臼町	33	122	451	1,027	1,027	2,660
子ども通園センター事業負担金	新十津川町	126	216	1,131	2,777	2,777	7,027
こども発達支援センター事業	雨竜町	2,058	1,890	1,948	1,256	1,256	8,408
	他						
	合計	64,160	70,011	66,966	80,251	80,251	361,639

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	<p>○こども発達支援センター 契約数 140 人 (延べ利用人数 2,100 人) 滝川市:契約 129 人(1,986 人)、雨竜町:契約 11 人(114 人)</p> <p>○子ども通園センター 契約数 68 人 (延べ利用人数 1,792 人) 砂川市:契約 27 人(697 人)、新十津川町:契約 18 人(475 人)、歌志内市:契約 5 人(110 人)、 奈井江町:契約 9 人(199 人)、上砂川町:契約 5 人(169 人)、浦臼町:契約 6 人(142 人)</p> <p>○児童ディサービスセンター 契約数 29 人 (延べ利用人数 923 人) 芦別市:契約 29 人(923 人)</p> <p>○子育て支援センター 個別支援人数 延べ 162 人 赤平市</p>
H29 年度の 主な取組	現状の事業運営を継続する。なお、将来的には、療育指導等の充実を図るため、指導員配置等の運営体制について検討する必要がある。
H30 年度以降の 取組予定	現状の事業運営を継続する。なお、将来的には、療育指導等の充実を図るため、指導員配置等の運営体制について検討する必要がある。
事業における 課題等	特になし。

I-2-(1) イ 地域活動支援センター事業及び相談支援事業

事業内容		<p>障がい者（児）の自立と社会参加を促進させるため、地域活動支援センターの広域利用を推進する。</p> <p>現状：砂川市は4市4町と共に委託。</p> <p>地域活動支援センターぽぽろ（社会福祉法人くるみ会） （赤平市、滝川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町）</p> <p>：芦別市は非営利特定法人が実施する「地域活動支援センター事業」に補助金を交付。</p> <p>：新十津川町は地域活動支援センターあざれあ工房（町社会福祉協議会）にも補助金を交付。</p> <p>：雨竜町は運営費負担金を地域活動支援センターあざれあ工房に直接交付。</p>
効果		広域利用により、安定した事業運営の確保が図られる。
役割分担	滝砂	各市町と連携し、地域活動支援センター事業及び相談支援事業の広域利用を推進するとともに、委託事業者と契約を締結し、必要な経費を負担する。
	関係市町	各市町は委託事業者と契約を締結し、必要な経費を負担する。
補助制度等		<p>地域活動支援センター事業の基本分は普通交付税の単位費用</p> <p>地域活動支援センター機能強化事業補助金（国庫補助金及び北海道補助金）</p>

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
地域活動支援センター事業	芦別市	2,710	2,710	2,710	2,710	2,710	13,550
地域活動支援センター事業及び相談支援事業	赤平市	595	742	1,033	1,354	1,354	5,078
地域活動支援センター事業（委託料）	滝川市	3,649	3,880	3,329	3,204	3,204	17,266
地域活動支援センター事業・相談支援事業（委託料）	砂川市	8,401	8,188	7,816	7,839	7,839	40,083
地域活動支援センター等運営事業（支援センター）	歌志内市	320	368	454	454	454	2,050
地域活動支援センター事業・相談支援事業	奈井江町	1,703	1,740	1,575	1,497	1,497	8,012
地域活動支援センター事業、相談支援事業委託	上砂川町	2,362	2,362	2,314	2,243	2,243	11,524
地域活動支援センター事業委託料・相談支援事業委託料	浦臼町	835	821	740	610	610	3,616
地域活動支援センター負担金		630		1,574	1,007	1,007	4,218
地域活動支援センター負担金	新十津川町	7,271	7,271	6,780	6,531	6,531	34,384
地域活動支援センター負担金	雨竜町	100	100	100	100	100	500
	他						
	合計	28,576	28,182	28,425	27,549	27,549	140,281

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	<p>○地域活動支援センターぽぽろ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動支援センター事業(年間 228 日開所)～延べ通所利用数 4,156 人(実人数 96 人) ・相談支援事業～相談 1,217 件(実人員 133 人)、対象障がい種別(精神 71%、発達 13%、知的 8%等)、相談内容(不安解消・情緒安定 27%、福祉サービス利用 21%、家族・人間関係 11%、障がい・病状理解 9%等) <p>○地域活動支援センター(芦別市)～延べ通所利用数 294 人(実人数 3 人)</p> <p>○地域活動支援センターあざれあ工房(雨竜町)～利用数雨竜町 0 人、新十津川町 9 人</p>
H29 年度の 主な取組	<p>引き続き、事業委託を継続し、関係市町と連携を図りながら広域利用を推進していく。なお、他市町それぞれに実施事業者がでた場合、身近な通所・相談先が望ましいこともあり、現状の広域体制、各市町体制の必要性及び予算措置について検討を要する。</p>
H30 年度以降の 取組予定	<p>引き続き、事業委託を継続し、関係市町と連携を図りながら広域利用を推進していく。なお、他市町それぞれに実施事業者がでた場合、身近な通所・相談先が望ましいこともあり、現状の広域体制、各市町体制の必要性及び予算措置について検討を要する。</p>
事業における 課題等	<p>特になし。</p>

I-2-(2) ア 保育所広域入所事業

事業内容		日常生活圏の拡大や住民ニーズの多様化に対応した保育所の広域入所など圏域の子育て支援の取組みを推進する。
効果		児童に対し、認可保育所での適切な保育を提供し、子育てに対する不安の解消や育児と仕事の両立が図られる。
役割分担	滝砂	協定に基づく保育所での児童受入れ及び委託先への保育単価の支出。
	関係市町	協定に基づく保育所での児童受入れ及び委託先への保育単価の支出。
補助制度等		普通交付税の単位費用

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
保育所広域入所(業務委託料)	芦別市	1,259	640	0	0	0	1,899
赤平市広域入所実施事業	赤平市	970	970	3,083	3,083	3,083	11,189
広域入所負担金事業	滝川市	2,354	5,628	2,455	1,646	1,646	13,729
保育所広域入所委託料	砂川市	1,418	1,429	1,448	3,656	3,656	11,607
保育所一般経費(広域入所保育委託)	歌志内市	1,934	1,934	1,934	3,304	3,304	12,410
保育所広域入所	奈井江町	485	570	860	860	860	3,635
保育所広域入所	上砂川町						
保育所広域入所委託料	浦臼町	8,362	8,814	4,452	4,846	4,846	31,320
保育所広域入所負担金	新十津川町	522	522	1,150	1,170	1,170	4,534
保育所広域入所	雨竜町	695	695	695	695	695	3,475
	他						
	合計	17,999	21,202	16,077	19,260	19,260	93,798

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	・児童受入れ数…芦別市 0 人、赤平市 1 人、滝川市 6 人、砂川市 3 人、歌志内市 0 人、奈井江町 9 人、上砂川町 0 人、浦臼町 0 人、新十津川町 0 人、雨竜町 0 人
H29 年度の 主な取組	適宜、他市町における保育受入れを要する児童のため、適正な事務執行を行う。 平成 30 年度に浦臼町で認定子ども園開設予定。
H30 年度以降の 取組予定	適宜、他市町における保育受入れを要する児童のため、適正な事務執行を行う。 平成 30 年 4 月に歌志内市、浦臼町で認定子ども園開設予定。
事業における 課題等	特になし。

I 生活機能の強化に係る政策分野

3. 教育

基本目標	「全国学力・学習状況調査」における児童生徒質問紙回答(平成 27 年度と平成 29 年度の比較) ①「国語の授業の内容がよく分かる」:10%上昇 小学生:33% ⇒ 43%、中学生: 31% ⇒ 41% ②「算数(数学)の授業の内容がよく分かる」:10%上昇 小学生: 43%⇒ 53% 、中学生: 31% ⇒ 41%
------	--

※ 基本目標の設定にあたり、構成比の平均値を求める計算に誤りがあった。5 市 5 町分の構成比を合算し、構成市町数(10 市町)で割っていたため、正しい算出方法になっていない。今回、基本目標を訂正すべく実数を集約し、再設定を行った。

H28 年度の達成状況	①「国語の授業の内容がよく分かる」:10%上昇 小学生:32%、中学生:30% ②「算数(数学)の授業の内容がよく分かる」:10%上昇 小学生:41%、中学生:29%
-------------	--

(1)学校教育の充実

協定の内容	(取組の内容) 個別の支援を必要とする圏域内の児童生徒に対し、教育の機会の均等を図るとともに、教育内容の充実のため各種事業を実施する。また、施設や人材の活用を図り、圏域住民のサービス向上を図る。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 事業運営の充実と拠点施設の設置・整備を図る。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 児童生徒が各種事業や拠点施設を利用できるよう情報提供や条件整備を行う。

重要業績 評価指標 (KPI)	学校適応指導事業を実施している市町の数 3 市 3 町(平成 27 年度) ⇒ 3 市 3 町(平成 29 年度)
-----------------------	--

H28 年度の達成状況	3 市 3 町(実施市町:芦別市・赤平市・滝川市・奈井江町・浦臼町・新十津川町)
-------------	---

- I-3-(1) ア 言語治療教室通級事業
イ 学校適応指導事業

(2) 国際教育の充実

協定の内容	(取組の内容) 外国語指導助手、国際交流員等の配置により、語学指導や異文化理解への情報提供を行うとともに、国際化に対応した人材育成と国際交流活動の推進を図る。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 外国語指導助手、国際交流員等の有効活用を推進する。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 外国語指導助手、国際交流員等の有効活用を推進する。

重要業績 評価指標 (KPI)	外国語指導助手の広域活動延べ人数 24人(平成27年度) ⇒ 30人(平成29年度)
-----------------------	---

H28年度の 達成状況	23人
----------------	-----

I-3-(2) ア 国際教育の推進

(3) 公の施設の相互利用の推進

協定の内容	(取組の内容) 圏域住民の生涯学習機会等の充実を図り、公共施設の効率的な利用を促進するため、公共施設の適正な維持管理・運営事業を行う。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 施設維持管理・運営事業については、各自治体が行う。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 施設維持管理・運営事業については、各自治体が行う。

重要業績 評価指標 (KPI)	図書館ネットワーク推進事業の参加者数 550人(平成27年度) ⇒ 600人(平成29年度)
-----------------------	---

H28年度の 達成状況	703人
----------------	------

I-3-(3) ア 公の施設の相互利用の推進

I-3-(1) ア 言語治療教室通級事業

事業内容		発達障がいやことばに障がいのある児童・生徒が通常学級に在籍し、個別指導を受ける。 言語通級教室や適応指導教室は、連携することできめ細かい教育が可能となる。 (現状) 砂川市： 1市4町と提携、ことば、 発達障害 週に2時間、教員3名、砂川中央小学校 滝川市： 単独、ことば、発達障害、教員5名、滝川第二小学校、滝川第三小学校、 西小学校、明苑中学校 芦別市： 単独、ことば 赤平市： 単独、 ことば、発達障害 雨竜町： 今は滝川市のこども発達支援センターを利用
効果		継続的な指導によりことばの障害が改善されている。
役割 分担	滝砂	砂川市立中央小学校に教室を設置している。 滝川第二小学校、滝川第三小学校、西小学校、明苑中学校に教室を設置している。
	関係 市町	各市町の児童を通級させ、必要経費を負担する。
補助制度等		

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
単)ことばの教室運営	芦別市	1,138	1,109	1,274	2,158	2,158	7,837
単)通級指導教室事業	赤平市		2,344	255	243	243	3,085
単)小学校・中学校運営事業 4校設置	滝川市	118	118	138	145	145	664
広域) 通級指導教室通級	砂川市	289	328	343	402	402	1,764
" 言語治療教室通級	歌志内市	77	99	138・173	84・149	84・149	482・471
" 言語治療教室通級	奈井江町	78	98	86・205	101・124	101・124	464・453
" 言語治療教室通級、通学費補助	上砂川町	62・72	62・72	62・72	62・72	62・72	310・360
" 言語治療教室通級、通学費補助	浦臼町	125・216	125・216	69・168	51・96	51・96	421・792
" 言語治療教室通級	新十津川町	68	66	69	69	69	341
	雨竜町						
	他						
	合計	2,243	4,637	3,052	3,756	3,756	17,444

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	全市町：発達障がいやことばに障がいのある児童・生徒が通常学級に在籍し、個別指導を受ける教室の運営 芦別市：言葉の発達に遅れがみられるなどの児童を対象に放課後の時間帯で、児童の状況により40～60分程度の個別指導を実施
H29 年度の 主な取組	継続して実施
H30 年度以降の 取組予定	継続して実施
事業における 課題等	特になし

I-3-(1) イ 学校適応指導事業

事業内容	不登校児童生徒の学校復帰のための支援・指導を行うとともに、当該児童生徒の保護者との相談体制の充実を図る。 現状：奈井江町、浦臼町、美唄市は共同運営 ：新十津川町、滝川市は H25 協定 （滝川市において、H25 より広域的な受け入れの連携推進） ：赤平市、滝川市は H27 協定 ：芦別市(単独) ：上記以外の市町は事業なし	
効果	適応指導を通して、児童生徒に自信が付き、生活リズムを取り戻し、学校復帰を図り、安定した学校生活を送ることが可能となる。	
役割分担	滝砂	滝川市教育支援センターに設置する適応指導教室の有効活用を推進する。
	関係市町	単独設置若しくは共同運営に加入している市町以外は、適応指導教室の利用を図り、不登校児童生徒の支援、指導を行う。
補助制度等		

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
単)適応指導教室運営	芦別市	2,925	2,529	1,670	2,582	2,582	12,288
	赤平市						
共同)適応指導教室運営事業	滝川市	8,854	8,911	7,412	7,407	7,407	39,991
	砂川市						
	歌志内市						
共同)美唄地区適応指導教室負担金	奈井江町	424	425	451	467	467	2,234
	上砂川町						
共同)美唄地区適応指導教室負担金	浦臼町	330	330	356	373	373	1,762
共同)適応指導教室負担金	新十津川町	1,404	804	804	804	804	4,620
	雨竜町						
	他						
	合計	13,937	12,999	10,693	11,633	11,633	60,895

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	全市町：不登校児童生徒の学校復帰のための支援・指導を行うとともに、当該児童生徒の保護者との相談体制の充実を図る。 芦別市：・通級指導者指導、体験通級者指導 ・学校との連携、助言 ・通級者、児童生徒、保護者、担任等の相談業務 ・家庭訪問の同行 ほか
H29 年度の 主な取組	継続して実施
H30 年度以降の 取組予定	継続して実施
事業における 課題等	特になし

I-3-(2) ア 国際教育の推進

事業内容	<p>圏域内の小中学校に外国語指導助手（ALT）を配置することにより、日本人の外国語教師の授業補助をはじめ、児童生徒に対する語学指導や異文化理解への情報提供を行うとともに、地域の国際交流に関する活動へ参加する。</p> <p>また、国際交流員（CIR）の配置により、国際活動に関連する事業の補助や国際交流に参加する地域活動への参加、地域住民の語学習得の支援を行う。</p>	
効果	<p>外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の配置及び効果的な活用により、外国語コミュニケーション能力の向上と国際理解が深められ、国際感覚豊かな青少年の育成が図られるほか、地域における国際化が推進される。</p>	
役割分担	滝砂	外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の有効活用を推進する。
	関係市町	外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の有効活用を推進する。
補助制度等	普通交付税の単位費用	

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
英語指導助手に要する経費	芦別市	4,832	4,851	4,806	5,199	5,199	24,887
国際交流員に要する経費	芦別市	3,801	3,782	3,794	3,667	3,667	18,711
外国青年招致事業	赤平市	4,417	4,583	4,583	4,583	4,583	22,749
外国青年招致事業（CIR）	滝川市	14,503	14,008	11,001	12,722	12,722	64,956
外国青年招致事業（ALT）	滝川市	22,647	22,614	22,614	22,871	22,871	113,617
外国青年招致事業（ALT）	砂川市	4,629	4,802	3,887	4,164	4,164	21,646
外国青年招致事業（ALTの招致）	歌志内市	3,943	4,355	4,375	5,032	5,032	22,737
英語指導助手に要する経費	奈井江町	5,789	4,748	4,884	4,758	4,758	24,937
ALT関連経費（報酬等）	上砂川町	4,170	4,309	4,499	4,536	4,536	22,050
英語指導助手に要する経費	浦臼町		2,713	2,984	3,158	3,158	12,013
外国青年招致事業	新十津川町	4,283	4,470	4,619	5,017	4,470	22,859
英語指導助手設置経費	雨竜町	5,267	3,883	4,779	5,090	5,090	24,109
	合計	78,281	79,118	76,825	80,797	80,250	395,271

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の配置及び効果的な活用により、外国語コミュニケーション能力の向上と国際理解を深め、国際感覚豊かな青少年の育成を図り、地域における国際化を推進した。
H29 年度の 主な取組	引き続き、外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の配置及び効果的な活用により、外国語コミュニケーション能力の向上と国際理解を深め、国際感覚豊かな青少年の育成を図り、地域における国際化を推進する。
H30 年度以降の 取組予定	これまでと同様に、外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の配置及び効果的な活用により、外国語コミュニケーション能力の向上と国際理解を深め、国際感覚豊かな青少年の育成を図り、地域における国際化を推進する。
事業における 課題等	H32 年度からの学習指導要領改訂（中学校におけるオールイングリッシュ授業、小学校 5・6 年生の英語の教科化）に伴う圏域内の外国語指導助手（ALT）の小中学校における授業補助の在り方について。

I-3-(3) ア 公の施設の相互利用の推進

事業内容	圏域市町が持つ社会教育、文化・スポーツ施設等の効率的な利用を促進するため、公の施設の適正な維持管理・運営事業を行うとともに、施設の相互利用を推進し、圏域住民の利便性の向上を図る。	
効果	公の施設の適正な維持管理や運営事業など、施設の相互利用の推進によって、公の施設の有効活用と生涯学習機会及び健康増進の充実が図られる。	
役割分担	滝砂	公の施設の維持管理・運営事業については、各自治体が行う。
	関係市町	公の施設の維持管理・運営事業については、各自治体が行う。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
図書館運営管理経費	芦別市	5,282	9,587	8,316	8,258	8,258	39,701
図書購入費	芦別市	3,000	3,000	3,000	2,640	2,640	14,280
図書館運営管理経費	赤平市	4,386	4,778	4,778	5,216	5,216	24,374
図書購入費	赤平市	2,800	3,080	3,080	3,080	3,080	15,120
図書館運営管理経費	滝川市	16,261	16,186	17,271	16,513	16,513	82,744
図書購入費	滝川市	7,000	7,860	7,701	7,701	7,701	37,963
図書館運営管理経費	砂川市	12,077	12,744	18,128	12,327	36,209	91,485
図書購入費	砂川市	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000
図書館運営管理経費	歌志内市	1,970	1,985	2,198	2,846	2,846	11,845
図書購入費	歌志内市	610	628	600	600	600	3,038
図書館運営管理経費	奈井江町	2,424	2,405	4,552	2,292	2,292	13,965
図書購入費	奈井江町	1,200	1,200	1,220	1,350	1,350	6,320
図書館運営管理経費	上砂川町	1,197	1,221	1,262	1,769	1,769	7,218
図書購入費	上砂川町	550	550	550	550	550	2,750
図書館運営管理経費	浦臼町	17	17	17	17	17	85
図書購入費	浦臼町	330	330	330	400	400	1,790
図書館運営管理経費	新十津川町	24,750	27,005	24,514	28,780	27,005	132,054
図書購入費	新十津川町	6,000	6,000	6,000	5,500	6,000	29,500
図書館運営管理経費	雨竜町	2,813	2,735	2,459	2,866	2,866	13,739
図書購入費	雨竜町	800	800	800	800	800	4,000
	他						
	合計	97,467	106,111	110,776	107,505	130,112	551,971

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
社会教育施設（文化施設含む）	芦別市	49,067	33,545	43,610	44,361	44,361	214,944
社会体育施設（スポーツ施設含む）	芦別市	95,479	101,116	100,262	90,112	90,112	477,081
社会教育施設（文化施設含む）	赤平市	43,964	41,740	44,229	44,229	44,229	218,391
社会体育施設（スポーツ施設含む）	赤平市	48,956	53,653	49,418	49,418	49,418	250,863
社会教育施設（文化施設含む）	滝川市	123,930	119,130	90,224	78,519	78,519	490,322
社会体育施設（スポーツ施設含む）	滝川市	130,092	131,922	138,180	170,006	170,006	740,206
社会教育施設（文化施設含む）	砂川市	83,422	81,778	85,663	85,329	82,796	418,988
社会体育施設（スポーツ施設含む）	砂川市	49,938	64,091	145,901	562,089	74,999	897,018
社会教育施設（文化施設含む）	歌志内市	29,172	31,908	33,151	40,772	40,772	175,775
社会体育施設（スポーツ施設含む）	歌志内市	12,305	27,548	27,303	14,249	14,249	95,654
社会教育施設（文化施設含む）	奈井江町	60,420	44,630	48,646	29,313	29,313	212,322
社会体育施設（スポーツ施設含む）	奈井江町	36,870	42,335	44,132	35,785	35,785	194,907
社会教育施設（文化施設含む）	上砂川町	19,749	17,492	16,798	16,893	16,893	87,825
社会体育施設（スポーツ施設含む）	上砂川町	10,062	7,778	8,110	7,517	7,517	40,984
社会教育施設（文化施設含む）	浦臼町	1,502	1,536	4,030	1,012	1,012	9,092
社会体育施設（スポーツ施設含む）	浦臼町	7,742	7,187	7,231	10,241	6,321	38,722
社会教育施設（文化施設含む）	新十津川町	63,806	22,050	29,685	18,566	22,050	156,157
社会体育施設（スポーツ施設含む）	新十津川町	71,512	78,387	112,631	74,404	78,387	415,321
社会教育施設（文化施設含む）	雨竜町	12,314	13,014	13,593	14,348	14,348	67,617
社会体育施設（スポーツ施設含む）	雨竜町	14,435	33,684	15,928	28,607	11,065	103,719
	他						
	合計	964,737	954,524	1,058,725	1,415,770	912,152	5,305,908

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	公の施設の適正な維持管理や運営事業など、施設の相互利用の推進によって、公の施設の有効活用と生涯学習機会及び健康増進の充実を図った。 また、なかそらち図書館ネットワーク推進事業を実施し、読書普及と生涯学習機会の増加に努めた。
H29 年度の 主な取組	引き続き、公の施設の適正な維持管理や運営事業など、施設の相互利用の推進によって、公の施設の有効活用と生涯学習機会及び健康増進の充実を図る。 また、図書館の相互利用を促進し、施設と蔵書の有効活用を図るとともに、なかそらち図書館ネットワーク推進事業を実施し、読書普及と生涯学習機会の増加を目指す。
H30 年度以降の 取組予定	引き続き、公の施設の適正な維持管理や運営事業など、施設の相互利用の推進によって、公の施設の有効活用と生涯学習機会及び健康増進の充実を図る。 また、図書館の相互利用を促進し、施設と蔵書の有効活用を図るとともに、なかそらち図書館ネットワーク推進事業を実施し、読書普及と生涯学習機会の増加を目指す。
事業における 課題等	構成市町の図書館（室）整備状況及び人員配置の違いから、事業実施における取組みへの関心等に差が生じている。

I 生活機能の強化に係る政策分野

4. 産業振興

基本目標	事業所数、従業員数 5,187 箇所、46,230 人（平成 26 年度） ⇒ 5,192 箇所、47,007 人（平成 29 年度）
------	--

H28 年度の 達成状況	4,681 箇所、39,811 人
-----------------	--------------------------

(1) 鳥獣被害防止対策の推進

協 定 の 内 容	（取組の内容） 農林業への被害防止を図るため、関係機関・団体と連携して協議の場を設け、被害状況や被害防止対策等の情報交換や処理費用の軽減に向けた手法を検討するための連携を進める。
	（甲の役割・滝川市、砂川市） エゾシカなど対象鳥獣の駆除などに関する情報交換や検討を行い、関係市町と調整を図り、鳥獣被害防止対策を実施する。
	（乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） エゾシカなど対象鳥獣の駆除などに関する情報交換や検討を行い、関係市町と調整を図り、鳥獣被害防止対策を実施する。

重要業績 評価指標 (KPI)	有害鳥獣捕獲頭数（エゾシカ・アライグマ） 1,744 頭数（平成 26 年度） ⇒ 2,376 頭数（平成 29 年度）
-----------------------	---

H28 年度の 達成状況	2,380 頭
-----------------	----------------

I-4-(1) ア 鳥獣被害防止対策事業

(2) 地域資源を活用した農商工・観光振興

協定の内容	(取組の内容) 圏域における観光と地場産品の振興を図るため、各市町が有する観光、食、物産品等の地域資源の魅力や付加価値を維持・向上させ地域ブランドの情報を発信していくとともに、関係団体と連携し地産地消、物産振興、地域ブランドの販路拡大を図り、都市と農村の交流、観光ルートの開発やイベント等を通して農商工・観光の振興を図る。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 圏域内のイベント及び物産情報等を集約し、圏域内外に向けて発信するとともに、関係団体と連携し、農商工・観光振興事業を推進する。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) イベント及び物産情報等を提供するとともに、関係団体と連携し、農商工・観光振興事業を推進する。

重要業績 評価指標 (KPI)	観光客入込数 428万8千人(平成27年度) ⇒ 445万人(平成29年度)
-----------------------	---

H28年度の 達成状況	428万人
----------------	-------

I-4-(2) ア 観光・物産・交流事業

(3) 雇用・就業支援対策の推進

協定の内容	(取組の内容) セミナーや技能講習等を計画・実施し、技術者の技能向上を図り、通年雇用化等を目指す。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 関係団体との連携により技能者等のセンター機能の充実と利用促進を図る。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 技能者等のセンター機能の利用によるスキルアップを図る。

重要業績 評価指標 (KPI)	季節労働者の通年雇用化人数 60人(平成27年度) ⇒ 62人(平成29年度)
-----------------------	--

H28年度の 達成状況	53人
----------------	-----

I-4-(3) ア 雇用・就業支援対策事業

I-4-(1) ア 鳥獣被害防止対策事業

事業内容		<p>農林業への被害防止を図るため、関係機関・団体と連携して協議の場を設け、被害状況や被害防止対策、効果的な駆除対策等の情報交換や、処理費用の軽減に向けた手法を検討するための連携を進める。</p> <p>現状：砂川市と奈井江町、芦別市と赤平市がそれぞれ2自治体で協議会を設置。 滝川市、浦臼町、新十津川町は単独で協議会を設置。 歌志内市：砂川支部歌志内部会猟友会に委託 上砂川町：砂川支部上砂川部会猟友会に委託</p> <p>連携するためには、各団体等の対象とするエリア、事業規模、JAや猟友会などの関係団体の調整が必要となる。</p>
効果		広域連携し広域的な防止対策を実施することで、有害鳥獣対策の強化が図られる。
役割分担	滝砂	エゾシカなど対象鳥獣の駆除などに関する情報交換や検討を行い、関係市町と調整を図り鳥獣被害防止対策を実施する。
	関係市町	エゾシカなど対象鳥獣の駆除などに関する情報交換や検討を行い、関係市町と調整を図り鳥獣被害防止対策を実施する。
補助制度等		農水省：鳥獣被害防止総合対策交付金事業（推進事業・整備事業）

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
鳥獣被害防止対策事業費	芦別市	13,689	13,740	13,351	13,029	13029	66,838
鳥獣駆除等業務委託料（猟友会委託料）	赤平市	1,040	1,043	1,043	1,046	1,046	5,218
有害鳥獣対策事業	滝川市	400	224	400	352	520	1,896
猟友会報償費	滝川市	610	610	610	610	610	3,050
鳥獣被害防止対策協議会補助金	滝川市	57	57	57	55	55	281
有害鳥獣対策事業費	砂川市	891	772	1,546	1,546	1,546	6,301
有害鳥獣対策連絡協議会補助金事業	砂川市	91	23	50	91	91	346
鳥獣駆除等業務委託料（猟友会委託料）	砂川市	433	433	543	543	543	2,495
有害鳥獣等対策協議会補助金	歌志内市	538	698	1,678	1,838	1,838	6,590
有害鳥獣運搬業務委託料	歌志内市			1,620	1,404	1,404	4,428
狩猟免許取得支援事業	歌志内市			38	38	38	114
有害鳥獣駆除対策事業	奈井江町	50	59	81	59	59	308
鳥獣駆除等業務委託料（猟友会委託料）	上砂川町	150	181	621	1,333	1,333	3,618
有害鳥獣駆除対策事業	浦臼町	1,205	1,205	866	915	915	5,106
有害鳥獣駆除対策事業	新十津川町	3,386	1,899	8,648	8,257	8,257	30,447
有害鳥獣駆除対策協議会負担金	新十津川町		1,662	3,458	3,865	3,865	12,850
有害鳥獣駆除対策事業	雨竜町	637	648	996	795	795	3,871
雨竜町活性化協議会	雨竜町				397	300	697
	合計	23,177	23,254	35,606	36,173	36,244	154,454

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	各団体において、鳥獣被害防止対策を実施するとともにハンターの育成に努めた。また、行政担当者による担当者会議を開催し、有害鳥獣出没や防止設備などについて情報共有し、連携を図った。
H29 年度の 主な取組	各団体において、鳥獣被害防止対策を実施した。また、ハンター育成のため新規に銃猟免許を取得した者に対し、奨励金の支給などを行う。
H30 年度以降の 取組予定	上記に同じ
事業における 課題等	ハンターの高齢化に伴う新人の育成と有害鳥獣の増加に伴う処理費用の増加が、課題となっている。

I-4-(2) ア 観光・物産・交流事業

事業内容	圏域における観光と地場産品の振興を図るため、各市町が有する観光、食、物産品等の地域資源の魅力や付加価値を維持・向上させ地域ブランドの情報を発信していくとともに、関係団体と連携し地産地消、物産振興、地域ブランドの販路拡大を図り、都市と農村の交流、観光ルートの開発やイベント等を通して観光振興、農商工の振興を図る。	
効果	中空知の地域資源の魅力や付加価値を発信することで、地域の知名度アップと海外を含めた誘客促進、地場産品の物産振興が図られ、人的交流による広域観光ニーズへの対応と、長期滞在や回遊性の向上による圏域内の経済効果の拡大、競争力の高い魅力ある観光地の形成に資する。	
役割分担	滝砂	圏域内のイベント及び物産情報を集約し、圏域内外に向けて発信するとともに、関係団体と連携し、農商工・観光振興事業を推進する。
	関係市町	イベント及び物産情報等を提供するとともに、関係団体と連携し、農商工・観光振興事業を推進する。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
観光・物産・交流事業	芦別市	101,347	101,135	101,996	98,885	98,885	502,248
中空知広域圏負担金(観光事業分)	芦別市	601	559	708	511	511	2,890
観光・物産・交流事業	赤平市	9,600	8,300	9,500	9,500	9,500	46,400
中空知広域圏負担金(観光事業分)	赤平市	480	453	576	414	414	2,337
観光・物産・交流事業	滝川市	47,440	42,056	48,560	47,956	47,956	233,968
中空知広域圏負担金(観光事業分)	滝川市	1,141	1,071	1,379	1,000	1,000	5,591
観光・物産・交流事業	砂川市	11,626	11,683	15,969	24,171	24,171	87,620
中空知広域圏負担金(観光事業分)	砂川市	640	603	771	559	559	3,132
観光・物産・交流事業	歌志内市	600	600	600	1,100	1,100	4,000
中空知広域圏負担金(観光事業分)	歌志内市	300	279	357	256	256	1,448
観光・物産・交流事業	奈井江町	10	10	1,205	1,060	1,060	3,345
中空知広域圏負担金(観光事業分)	奈井江町	348	326	415	302	302	1,693
観光・物産・交流事業	上砂川町	2,550	2,600	2,600	2,600	2,600	12,950
中空知広域圏負担金(観光事業分)	上砂川町	270	253	326	236	236	1,321
観光・物産・交流事業	浦臼町	7,500	7,500	7,500	8,594	8,594	39,688
中空知広域圏負担金(観光事業分)	浦臼町	254	238	306	220	220	1,238
観光・物産・交流事業	新十津川町	7,800	7,800	65,565	63,945	63,945	209,055
中空知広域圏負担金(観光事業分)	新十津川町	399	373	478	345	345	1,940
観光・物産・交流事業	雨竜町	1,701	1,993	2,813	3,743	3,743	13,993
中空知広域圏負担金(観光事業分)	雨竜町	272	256	330	237	237	1,332
	合計	194,879	188,088	261,954	265,634	265,634	1,176,189

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	<p>中空知の地域資源の魅力や付加価値を発信するため、中空知花火大会スタンプラリーを実施（応募総数：209）するとともに中空知5市5町のイベントカレンダーにより情報発信を行った。</p> <p>砂川 SA スマート IC 開通に併せて、北海道じゃらんに特集ページを掲載し、PR に努めるとともに中空知のグルメ・物産振興を図るため「なかそらち大収穫祭」に出店し、魅力発信に努めた。</p>
H29 年度の 主な取組	<p>中空知の地域資源の魅力や付加価値を発信するため、中空知花火大会スタンプラリーを引き続き実施するとともに中空知5市5町のイベントカレンダーを作成し、情報発信を行った。また、グルメ・物産の振興を図るため「さっぽろオータムフェスト」をはじめ各地の物産展に出展し PR に努めた。引き続き「なかそらち大収穫祭」に出店協力し、地域の魅力発信を行う。</p> <p>広域観光ニーズを把握するとともに観光ルートを開発するため、周遊観光モニターツアーを実施する。</p>
H30 年度以降の 取組予定	<p>上記に同じ</p>
事業における 課題等	<p>インバウンド観光及び圏域観光ニーズへの対応、長期滞在や回遊性の向上による圏域内の経済効果の拡大や広域観光ルートの開発が課題となっている。また、老朽化に伴う観光施設の計画修繕が、課題となっている。</p>

I-4-(3) ア 雇用・就業支援対策事業

事業内容		<p>関係企業の従業員や求職者及び地域住民に対し、職業教育訓練を実施し企業の担い手の育成に資するほか、積雪寒冷期における季節労働者の失業を減らすため、セミナー、講習会を開催して啓発を行い、さらに季節労働者が技能資格の取得等によって、通年雇用化を目指す。</p> <p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中小企業労働者や求職者及び地域住民の職業教育訓練を目的としたスキルアップセンター空知の運営を支援。 ・地域における季節労働者対策として砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町で砂川地域通年雇用促進協議会を設置、芦別市、赤平市、滝川市、新十津川町、雨竜町で滝川地域通年雇用促進協議会を設置、浦臼町は、美唄市と美唄市季節労働者通年雇用促進協議会を設置。
効果		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な研修・技能講習・資格試験などの職業教育訓練を通し、労働者の技能向上、求職者の就労支援が図られている。 ・各地域のニーズに応じた様々な事業を展開し、季節労働者の通年雇用化に一定の成果が表れている。
役割分担	滝砂	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体との連携により技能者等センター機能の充実と利用促進を図る。 ・季節労働者支援のため、事務局や雇用促進支援員を配置し、積極的な事業の推進を図る。
	関係市町	<ul style="list-style-type: none"> ・技能者等のセンター機能の利用によるスキルアップの向上を図る。 ・関係団体と協働で季節労働者の通年雇用化を促進する。
補助制度等		厚生労働省委託事業。北海道～季節労働者資格取得促進事業

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
協会、通促進支援負担金	芦別市	716	732	726	741	741	3,656
協会、通促進支援負担金	赤平市	859	865	885	898	898	4,405
協会、通促進支援負担金	滝川市	16,851	16,857	16,853	16,857	16,857	84,275
協会、砂川通促進支援負担金	砂川市	1,013	1,013	981	968	968	4,943
協会、砂川通促進支援負担金	歌志内市	346	346	346	326	326	1,690
協会、砂川通促進支援負担金	奈井江町	347	347	355	347	347	1,743
協会、砂川通促進支援負担金	上砂川町	20	20	20	20	20	100
協会、通促進支援負担金	浦臼町	213	213	213	200	200	1,039
協会、通促進支援負担金	新十津川町	552	570	581	600	600	2,903
協会、通促進支援負担金	雨竜町	251	254	259	255	255	1,274
	合計	21,168	21,217	21,219	21,212	21,212	106,028

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	<p>通年雇用促進協議会における研修や技能講習の受講や資格取得により、季節労働者の通年雇用を促進した。(滝川地域 66 名・砂川地域 名・浦臼地域 5 名)</p> <p>スキルアップセンター空知において地域における中小企業労働者・求職者・地域住民に対し、各種職業教育訓練を行うとともに職業講習・研修及び住民講座等を行った。(利用延人数 29,743 名)</p>
H29 年度の 主な取組	<p>通年雇用促進協議会におけるアンケート調査や研修及び技能講習の受講ならびに資格取得により、季節労働者の通年雇用を促進する。</p> <p>地域の中小企業の従業員や求職者及び地域住民に対し、職業教育訓練を実施し企業の担い手の育成に資するため、スキルアップセンター空知の運営を支援する。</p> <p>高校生等の地元への就職支援を図るため、空知総合振興局と連携し地元就職応援フェア地元企業合同説明会を 6 月 27 日に実施した。(参加 48 社)</p> <p>また、11 月 17 日には、「なかそらち合同企業説明会」を開催し、圏域内の高校 2 年生と國學院大学北海道短期大学部学生を対象に、就職活動前や求職活動を見直す際に地域の仕事や企業を知る機会を設け、地元定着につなげる。</p>
H30 年度以降の 取組予定	<p>上記に同じ</p>
事業における 課題等	<p>人手不足が続く建設業界で、職業訓練の重要性が再認識されている。技能や資格が必要な作業が多いが、人材は一朝一夕には育たず、地道な育成の努力が欠かせない。また、女性や若者を定着させるため、働きやすい職場づくりが課題となっている。</p> <p>なお、人手不足の現状は、建設業界だけではなく、医療・介護・福祉分野、製造業、運輸業等にも及んでいることから、複合的に人材確保のための取組が課題である。</p>

I 生活機能の強化に係る政策分野

5. 環境

基本目標	一般廃棄物のリサイクル率 24.6%（平成26年度） ⇒ 26.1%（平成29年度）
------	---

H28年度の 達成状況	26.0%
----------------	-------

(1) 廃棄物処理施設等の広域利用の推進

協 定 の 内 容	（取組の内容） 廃棄物等の安定的かつ効率的な収集・処理体制を推進しながら、処理施設等の広域利用を促進する。
	（甲の役割・滝川市、砂川市） 乙と連携して、一部事務組合等における広域処理を維持するとともに、更新時期に合わせた更なる広域化も模索しながら、応分の経費を負担する。
	（乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） 甲と連携して、一部事務組合等における広域処理を維持するとともに、更新時期に合わせた更なる広域化も模索しながら、応分の経費を負担する。

重要業績 評価指標 （KPI）	市民・町民1人1日当たりのごみ排出量 951g（平成26年度） ⇒ 821g（平成29年度）
-----------------------	---

H28年度の 達成状況	962g
----------------	------

I-5-(1) ア 廃棄物処理施設等の広域利用の推進

(2) 消費生活

協定の 内容	(取組の内容) 複雑・多様化する消費生活相談に対応するため、広域的な取組を推進しながら、圏域住民の消費生活の安定と向上を図る。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 滝川市が設置する滝川地方消費者センターを広域的に運営し、乙及び関係機関等とも連携しながら、消費生活相談員の資質向上に努め、啓発事業の実施や消費生活相談の充実を図る。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 滝川市が設置する滝川地方消費者センター又は甲及び関係機関等と連携し、啓発事業の実施や消費生活相談の充実を図るとともに、応分の経費を負担する。

重要業績 評価指標 (KPI)	消費生活相談における苦情相談件数 449件(平成26年度) ⇒ 500件(平成29年度)
-----------------------	---

H28年度の 達成状況	432件
----------------	-------------

I-5-(2) ア 消費生活相談の広域対応

I-5-(1) ア 廃棄物処理施設等の広域利用の推進

事業内容	事業の安定的かつ効率的な運営を推進しながら、処理施設等の広域利用を行う。 【現状】	
	<p>○一般廃棄物処理施設 [中継施設] ・リサイクルクリーン（滝）滝川市、芦別市（生ごみのみ）、赤平市、新十津川町、雨竜町 ・クリーンプラザくるくる（砂）砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町 [焼却処理施設] ・中・北空知エネクリーン（中）滝川市、赤平市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町及び北空知1市4町</p> <p>○污泥等受入施設（し尿及び浄化槽污泥処理施設） （石狩川流域下水道奈井江浄化センター内に建設。平成27年4月供用開始） 滝川市、芦別市、赤平市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町及び南空知1市1町 ◇污泥等受入施設供用開始に伴い、旧処理施設は平成27年3月末に休止 ・中空知衛生センター（滝）滝川市、新十津川町、雨竜町 ・砂奈浦衛生センター（砂）（H20休止）砂川市、奈井江町、上砂川町、浦臼町 ・単独：歌志内市衛生センター、赤平市浄化センター、奈井江浄化センター</p> <p>○火葬施設 ・滝の川斎苑（滝）滝川市、赤平市、新十津川町、雨竜町 ・吉野斎苑（砂）砂川市、歌志内市、上砂川町 ・奈井江葬斎場 奈井江町、浦臼町 （単独：芦別市）</p> <p>※ 課題＝老朽化に伴う施設の建替え費用や廃止施設の解体費用、ごみ・し尿の収集業務等の取扱いについて、今後、必要に応じて検討 ※ （滝）は中空知衛生施設組合、（砂）は砂川地区保健衛生組合、（中）は中・北空知廃棄物処理広域連合</p>	
効果	施設の建設・管理、事業運営を共同で行うことで、経費節減や事業効率化が図られる。	
役割分担	滝	各自治体が応分の経費を負担する。
	砂川市 関係町	各自治体が応分の経費を負担する。
補助制度等	普通交付税の単位費用	

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
一部事務組合負担金等	芦別市	239,291	165,628	163,215	162,152	162,152	892,438
一部事務組合負担金等	赤平市	249,274	175,307	196,692	212,648	212,648	1,046,569
一部事務組合負担金等	滝川市	577,152	554,569	636,586	611,471	611,471	2,991,249
一部事務組合負担金等	砂川市	316,962	309,768	320,583	337,242	337,242	1,621,797
一部事務組合負担金等	歌志内市	75,067	125,004	70,034	67,507	67,507	405,119
一部事務組合負担金等	奈井江町	105,353	99,156	98,076	103,265	103,265	509,115
一部事務組合負担金等	上砂川町	89,805	81,957	67,210	76,743	76,743	392,458
一部事務組合負担金等	浦臼町	59,444	63,325	39,405	65,338	65,338	292,850
一部事務組合負担金等	新十津川町	126,522	99,375	103,700	106,986	106,986	543,569
一部事務組合負担金等	雨竜町	62,578	53,596	57,835	59,547	59,547	293,103
	合計	1,901,448	1,727,685	1,753,336	1,802,899	1,802,899	8,988,267

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	引き続き処理施設等の広域利用を実施
H29 年度の 主な取組	引き続き処理施設等の広域利用を実施
H30 年度以降の 取組予定	引き続き処理施設等の広域利用を実施予定
事業における 課題等	老朽化に伴う施設の建替費用や廃止施設の解体費用、ごみ・し尿の収集業務等の取扱いについて、今後、必要に応じて検討

I-5-(2) ア 消費生活相談の広域対応

事業内容		<p>複雑・多様化する消費生活相談に対応するため、相談体制の維持・確保を図るとともに、被害情報等を共有化しながら、広域的な取組みを推進する。</p> <p>【現状】 滝川地方消費者センター（滝川市、歌志内市（H28.9～）、奈井江町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） （単独：芦別市、赤平市、砂川市、歌志内市、上砂川町）</p>
効果		<p>広域的消費生活相談事業の推進によって、圏域住民の消費生活の安定と向上が図られる。</p>
役割分担	滝砂	<p>消費者センター等における消費生活相談員の資質向上に努め、相談体制の充実を図りながら、圏域住民を対象とした消費生活相談を実施する。 （必要に応じて関係市町と相談内容、対応状況等の情報交換を行う）</p>
	関係市町	<p>消費者センター等と連携し、消費者相談の円滑化を図りながら、応分の経費を負担する。 （必要に応じて関係市町と相談内容、対応状況等の情報交換を行う）</p>
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
消費生活相談業務	芦別市	2,555	3,341	3,292	3,082	3,082	15,352
消費生活相談業務	赤平市	3,402	1,962	1,964	1,972	1,972	11,272
滝川地方消費者センター相談事業	滝川市	2,447	2,447	2,453	3,030	3,030	13,407
消費生活相談業務	砂川市	1,124	1,225	1,231	1,244	1,244	6,068
消費生活相談業務	歌志内市	155	359	0	0	0	514
滝川地方消費者センター相談事業	歌志内市	0	0	190	222	222	634
滝川地方消費者センター相談事業	奈井江町	234	234	222	280	280	1,250
消費生活相談業務	上砂川町	1,771	1,737	1,819	1,857	1,857	9,041
滝川地方消費者センター相談事業	浦臼町	125	125	118	146	146	660
滝川地方消費者センター相談事業	新十津川町	315	315	318	395	395	1,738
滝川地方消費者センター相談事業	雨竜町	160	153	139	180	180	812
	他						
	合計	12,288	11,898	11,746	12,408	12,408	60,748

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	H27 年度と同内容の取組とともに、H28 年 9 月から歌志内市の消費生活相談業務を滝川地方消費者センターにおいて実施
H29 年度の 主な取組	H28 年度と同内容の取組
H30 年度以降の 取組予定	H29 年度と同内容の取組を予定しているが、H30 年 4 月から芦別市の消費生活相談業務を滝川地方消費者センターにおいて実施予定
事業における 課題等	特になし。

I 生活機能の強化に係る政策分野

6. 防災・消防

基本目標	防災講習会等の開催数 24 回（平成 27 年度） ⇒ 31 回（平成 29 年度）
------	---

H28 年度の 達成状況	30 回
-----------------	------

（1）広域防災体制の連携推進

協 定 の 内 容	（取組の内容） 災害時に必要な情報の共有、迅速な対応を図るための応援体制の確立に向けて、平常時より情報交換や事業の連携を進め、広域防災体制の整備と強化を図る。
	（甲の役割・滝川市、砂川市） 災害時における職員派遣や備蓄品・資機材・避難施設の相互利用が可能となる諸準備や共同事業の検討を進め、関係市町と相互応援体制を構築する。
	（乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） 災害時における職員派遣や備蓄品・資機材・避難施設の相互利用が可能となる諸準備や共同事業の検討を進め、関係市町と相互応援体制を構築する。

重要業績 評価指標 （KPI）	防災講習会の参加者数 696 人（平成 27 年度） ⇒ 1,150 人（平成 29 年度）
-----------------------	---

H28 年度の 達成状況	1,451 人
-----------------	---------

I-6-（1） ア 広域防災体制の連携推進

(2) 消防相互応援体制の整備

協定の 内容	(取組の内容) 災害時や緊急時において、関係市町が協力し、迅速かつ的確な対応を行うため、平常時より情報交換や事業における連携を進め、圏域の消防力を強化し、防災力の向上を図る。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 平常時より関係市町と情報交換や事業における連携を進めることにより、災害時や緊急時において、乙からの要請に応じ、迅速かつ的確な対応を行うことができる応援体制の整備を推進する。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 平常時より関係市町と情報交換や事業における連携を進めることにより、災害時や緊急時において、甲からの要請に応じ、迅速かつ的確な対応を行うことができる応援体制の整備を推進する。

重要業績 評価指標 (KPI)	情報交換会議の開催回数 3回(平成29年度)
-----------------------	---------------------------

H28年度の 達成状況	0回
----------------	----

I-6-(2) ア 消防相互応援体制の整備

I-6-(1) ア 広域防災体制の連携推進

事業内容		災害時に必要な情報の共有、迅速な対応を図るための応援体制の確立に向けて、平常時より情報交換や事業の連携を進め、広域防災体制の整備と強化を図る。
効果		災害時における迅速かつ細やかな相互応援体制が構築され、住民が安心して生活できる圏域の形成が図られる。
役割分担	滝砂	災害時に情報共有を図ると共に職員派遣や備蓄品・資機材・避難施設の相互利用が可能となる諸準備や共同事業の検討を進め、関係市町と相互応援体制を構築する。
	関係市町	災害時に情報共有を図ると共に職員派遣や備蓄品・資機材・避難施設の相互利用が可能となる諸準備や共同事業の検討を進め、関係市町と相互応援体制を構築する。
補助制度等		地域づくり総合交付金(地域づくり推進事業)に該当(交付率1/2以内)

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
防災備蓄品の購入	芦別市	71	602	219	273	300	1,465
災害備蓄品の購入	赤平市	2,329	1,550	1,547	1,551	1,551	8,528
災害対策に要する経費(備蓄品購入)	滝川市	5,195	572	513	734	734	7,748
災害対策に要する経費(備蓄品購入費)	砂川市	3,755	746	96	1,013	1,013	6,623
防災用備蓄物品購入	歌志内市	2,296	1,541	247	1,854	1,025	6,963
防災に要する経費(備蓄品)	奈井江町	2,127	2,031	2,996	1,197	453	8,804
防災備蓄品購入事業	上砂川町	1,400	1,500	2,100	10,256	1,100	16,356
備蓄品購入費(需用費)	浦臼町	300	300	715	7,269	5,782	14,366
災害救助物資備蓄事業	新十津川町	99	99	96	106	106	506
防災備品関係	雨竜町	2,801	2,516	900	400	400	7,017
	他						
	合計	20,373	11,457	9,429	24,653	12,464	78,376

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「中空知5市5町防災に関する協定」の締結(8月3日) ・滝川地区タイムラインの検討会を4回開催し、構成市町はオブザーバーで参加した。 ・専門部会により、8月の台風による対応、被害についての情報共有(9月28日)
H29 年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部会(防災部会)を開催(7/11)し、定住自立圏の市町参加による図上訓練の実施について協議を行う。 ・定住自立圏の市町参加の図上訓練(10/26) 事前説明準備会(10/25) ・上記訓練を兼ねて防災備蓄品の最新備蓄状況などの情報共有
H30 年度以降の 取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応についての情報共有 ・防災備蓄品の最新備蓄状況の把握・広域避難所などの情報共有
事業における 課題等	<p>・各自治体の防災体制の現場では、近年、日本で次から次へと起こる異常気象や震災などの甚大な被害を教訓に、国や北海道から、法や制度改正、さらには多様なマニュアルがつくられるなど、様々な災害対応の事務に取り組みなければならないという事務量が著しく増える状況にある。</p> <p>特に、気候変動に伴う水害対応は、急務ではありますが、(すべて国等のガイドラインなどで対応できている市町は少ない。)現在、市町の防災体制の実態は、職員数の減少や災害経験の継承が失われるなど、現状の災害対応の能力の維持だけでも厳しい状況の中、新たに行わなければならない災害対応事務に追われている。</p> <p>今後、住民の生命・財産を守るためには、まずは、今の災害大国日本における自治体ごとに従前通りの体制ではなく、新たな災害に対応できるよう防災体制を再構築することがもっとも急がれる課題である。(たとえば、BCPや受援体制など)</p> <p>そのうえで、各自治体における体制づくりの課題を明らかにして、自らできること、できないこと、支援・連携しなければならないことを、北海道を含めたこの圏域での新たな防災連携のあり方について議論する必要がある。</p>

I-6-(2) ア 消防相互応援体制の整備

事業内容	平常時より関係市町と情報交換や事業における連携を進め、また、消防職員及び消防団員の資質向上に努めることにより、災害時や緊急時において、迅速かつ的確な対応を行うことができる応援体制の整備を推進するとともに、消防施設等の整備拡充を進め消防力の強化を図る。	
効果	災害時や緊急時における迅速かつ細やかな相互応援体制が整備され、住民が安心して生活できる圏域の形成が図られる。	
役割分担	滝砂	災害時や緊急時において、関係市町と協力し、迅速かつ的確な対応を行うため、平常時より関係市町と情報交換や事業における連携を進め、消防力を強化し、防災力の向上を図る。
	関係市町	災害時や緊急時において、関係市町と協力し、迅速かつ的確な対応を行うため、平常時より関係市町と情報交換や事業における連携を進め、消防力を強化し、防災力の向上を図る。
補助制度等		

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
消防施設等整備事業	芦別市			27,627	3,619	60,709	91,955
消防団員連携交流事業	芦別市			18	20	20	58
消防施設等整備事業	赤平市			65,200	16,457	134,500	216,157
消防団員連携交流事業	赤平市			18	18	18	54
消防施設等整備事業	滝川市			631,736	1,034,083	81,923	1,748,462
消防団員連携交流事業	滝川市			18	18	18	54
消防施設等整備事業	砂川市			1,121	10,352	1,064	12,537
消防団員連携交流事業	砂川市			24	24	24	72
消防施設等整備事業	歌志内市			0	9,411	18,473	27,884
消防団員連携交流事業	歌志内市			18	18	24	60
消防施設等整備事業	奈井江町			158,669	125,495	125,495	409,659
消防団員連携交流事業	奈井江町			18	18	18	54
消防施設等整備事業	上砂川町			101,030	68,000	30,000	199,030
消防団員連携交流事業	上砂川町			18	28	18	64
消防施設等整備事業	浦臼町			12,153	43,720	28,946	84,819
消防団員連携交流事業	浦臼町			18	18	18	54
消防施設等整備事業	新十津川町			914	5,864	6,155	12,933
消防団員連携交流事業	新十津川町			18	18	18	54
消防施設等整備事業	雨竜町			98,389	906	477	99,772
消防団員連携交流事業	雨竜町			18	18	18	54
情報交換事業	各市町			0	0	0	0
	合計			1,097,025	1,318,825	487,936	2,903,786

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	H28 年 12 月に 3 消防本部と滝川市において、情報交換事業の中身についての検討会議を開催。
H29 年度の 主な取組	消防団員連携交流事業として、中空知分会連合消防演習を実施した（6 月 25 日 上砂川町）。 情報交換事業として、実務者レベルの連絡会議を開催。
H30 年度以降の 取組予定	消防団員連携交流事業として、中空知分会連合消防演習を実施（H30：歌志内市、H31：奈井江町、H32：新十津川町）。 情報交換事業として、実務者レベルの連絡会議を開催。
事業における 課題等	今後、上記事業を実施する中で、課題を検討する。

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る分野

1. 地域公共交通

基本目標	バス運行路線の維持 28 路線（平成 28 年 12 月 1 日時点） ⇒ 28 路線（平成 30 年 4 月 1 日時点）
------	---

H28 年度の 達成状況	28 路線
-----------------	--------------

（1）多様な公共交通の確保

協 定 の 内 容	（取組の内容） 圏域住民の移動手段の確保や利便性の向上を図るため、多様な交通手段の検討と生活交通路線の維持確保と利用促進の取組を進める。
	（甲の役割・滝川市、砂川市） 関係市町と連携して、バス路線の維持確保と利用促進に取り組む。
	（乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） 関係市町と連携して、バス路線の維持確保と利用促進に取り組む。

重要業績 評価指標 （K P I）	路線バス利用者数の減少率 3%（H24～H27 年度の平均） ⇒ 3%以内（H29 年度）
-------------------------	--

H28 年度の 達成状況	1%
-----------------	-----------

Ⅱ-1-(1) ア 多様な生活交通路線の確保

Ⅱ-1-(1) ア 多様な生活交通路線の確保

事業内容		乗り合いバス事業者等への支援を通じ、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持確保を図るとともに、多様な交通手段の検討を行う。
効果		関係市町における公共交通の利便性を確保する。
役割分担	滝砂	関係市町及び事業者等と協議しながら、通勤・通学・通院・買い物など、住民の利便性の確保を図るとともに、事業実施にかかる市町負担額をルールに基づき負担する。
	関係市町	関係市町及び事業者等と協議しながら、通勤・通学・通院・買い物など、住民の利便性の確保を図るとともに、事業実施にかかる市町負担額をルールに基づき負担する。
補助制度等		※市町負担額への特別交付税措置（80%）

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
多様な生活交通路線の確保	芦別市	15,125	15,704	31,870	27,437	27,437	117,573
	赤平市						
多様な生活交通路線の確保	滝川市	7,014	7,203	8,461	8,333	8,333	39,344
多様な生活交通路線の確保	砂川市	5,233	6,585	8,192	7,671	7,671	35,352
多様な生活交通路線の確保	歌志内市	8,946	10,040	10,613	9,611	9,611	48,821
多様な生活交通路線の確保	奈井江町	10,605	17,205	8,969	9,124	9,378	55,281
多様な生活交通路線の確保	上砂川町	2,673	2,673	3,364	2,446	2,446	13,602
多様な生活交通路線の確保	浦臼町	10,847	13,142	11,363	11,975	11,975	59,302
多様な生活交通路線の確保	新十津川町	20,400	17,355	20,716	20,708	17,355	96,534
多様な生活交通路線の確保	雨竜町	4,403	5,302	5,496	5,347	5,347	25,895
	他						
	合計	85,246	95,209	109,044	102,652	99,553	491,704

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空知地域生活交通確保対策協議会及び各分科会等においてバス交通の維持・確保に関する計画の策定や協議を実施した。 ・ 乗り合いバス事業者等への支援を行い、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持確保を図った。
H29 年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空知地域生活交通確保対策協議会及び各分科会等においてバス交通の維持・確保に関する計画の策定や協議を実施した。 ・ 乗り合いバス事業者等への支援を行い、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持確保を図る。
H30 年度以降の 取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空知地域生活交通確保対策協議会及び各分科会等においてバス交通の維持・確保に関する計画の策定や協議を実施する。 ・ 乗り合いバス事業者等への支援を行い、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持確保を図る。
事業における 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少が進む中、年々、乗り合いバスの利用客が減少し、各市町の負担額が増加している。今後、地域の足である路線バスを維持するために、利用客の確保と効率的な運行により収支改善を図る必要がある。

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る分野

2. 道路等の交通インフラの整備

基本目標	都市計画道路（市道）の整備率 76.9%（平成27年度） ⇒ 79.7%（平成29年度）
------	---

H28年度の 達成状況	80.1%
----------------	-------

（1）生活幹線道路の整備

協 定 の 内 容	（取組の内容） 圏域内の主要幹線道路へのアクセス道路及び生活道路の整備や改良を行い、圏域内の道路ネットワークの構築に向けた取組を進める。
	（甲の役割・滝川市、砂川市） 関係市町と連携して、生活幹線道路の整備に関し、圏域内の道路ネットワークの構築に向けた取組を進める。
	（乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） 関係市町と連携して、生活幹線道路の整備に関し、圏域内の道路ネットワークの構築に向けた取組を進める。

重要業績 評価指標 （KPI）	市町道路の整備率 65.3%（平成27年度） ⇒ 66%（平成29年度）
-----------------------	---

H28年度の 達成状況	65.5%
----------------	-------

- Ⅱ-2-（1） ア 地域を結ぶ道路ネットワークの構築及び生活幹線道路の整備
イ 冬季の安全な道路交通確保事業

Ⅱ-2-(1) ア 地域を結ぶ道路ネットワークの構築及び生活幹線道路の整備

事業内容	日常生活の利便性の向上や地域産業及び地域経済を支える道路ネットワークの構築を図るため、広域的な視点での主要幹線道路へのアクセス道路をはじめとする生活道路の整備充実を図る。また、各種期成会活動を通じ、圏域及び隣接する自治体を結ぶ国道・道道などの幹線道路網等の促進に向けた取り組みを推進する。	
効果	地域内及び地域間を結ぶ道路網の整備によって、通院・通学・買い物など日常生活圏の拡大及び圏域内外の交流促進が図られる。	
役割分担	滝砂	生活幹線道路の整備及び幹線道路網の促進に関し、広域的な視点による道路ネットワークの構築に向けた取り組みを進めるとともに、各自治体が必要な経費を負担する。
	関係市町	生活幹線道路の整備及び幹線道路網の促進に関し、広域的な視点による道路ネットワークの構築に向けた取り組みを進めるとともに、各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
道路新設改良事業	芦別市	78,100	70,000	83,700	86,100	86,100	404,000
道路新設改良事業	赤平市	97,021	157,500	158,400	135,000	127,200	675,121
道路新設改良事業費	滝川市	282,460	267,000	249,106	257,500	266,000	1,322,066
国道451号道路整備促進期成会負担金	滝川市	182	121	0	0	0	303
道路新設改良事業	砂川市	451,630	508,394	405,150	351,696	597,070	2,313,940
道路新設改良事業	歌志内市	17,419	3,338	8,458	30,058	4,500	63,773
道路新設改良事業	奈井江町	21,000	4,000	59,494	5,492	5,492	95,478
道路維持及び舗装補修	上砂川町	63,760	48,000	29,388	56,420	55,100	252,668
道路新設改良事業	浦臼町	17,400	21,400	29,290	27,000	25,000	120,090
道路整備事業(町道の改良舗装事業)	新十津川町	119,612	75,522	114,273	139,439	75,522	524,368
国道451号道路整備促進期成会負担金	新十津川町	161	108	0	0	0	269
町道整備事業	雨竜町	60,280	56,308	35,455	24,688	24,688	201,419
	他						
	合計	1,209,025	1,211,691	1,172,714	1,113,393	1,266,672	5,973,495

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	地域内及び地域間を結ぶ道路網の整備によって、通院・通学・買い物など日常生活圏の拡大及び圏域内外の交流促進を図った。
H29 年度の 主な取組	引き続き、地域内及び地域間を結ぶ道路網の整備によって、通院・通学・買い物など日常生活圏の拡大及び圏域内外の交流促進を図る。
H30 年度以降の 取組予定	引き続き、地域内及び地域間を結ぶ道路網の整備によって、通院・通学・買い物など日常生活圏の拡大及び圏域内外の交流促進を図る。
事業における 課題等	社会インフラの老朽化が社会問題となっている。特に橋梁等の修繕、改築には莫大な予算が伴うことから自治体予算だけでは対応しきれず、国の予算の拡充が求められる。また、自治体の技術職員の不足や、それに伴う技術力不足が深刻な課題となっている。

II-2-(1) イ 冬季の安全な道路交通確保事業

事業内容		冬期間の雪による道路交通の障害が、緊急車両の通行の妨げや慢性的な交通渋滞を引き起こし、圏域の大きな課題となることから、地域の実情に応じ、効率的な除排雪を行い、冬季の安全な道路交通を確保する。 事例 新十津川町と滝川市の事例：境界での橋梁部分の除雪費按分 街路灯の広域連携経費 砂川市と奈井江町の境界除雪費按分
効果		地域の実情に応じた迅速かつ効率的な除排雪体制が整備されることにより、通勤、通学、産業活動等、市民生活の利便性の向上と冬季の安全対策が図られる。
役割分担	滝砂	各自治体が必要な経費を負担する。
	関係市町	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
	芦別市						
	赤平市						
平成橋に係る除雪経費（協定分）	滝川市	150	150	150	400	400	1,250
除排雪に要する経費（奈井江町と連携分）	砂川市	833	932	932	974	974	4,645
	歌志内市						
除排雪に要する経費（砂川市と連携分）	奈井江町	1,182	1,182	1,182	1,182	1,182	5,910
	上砂川町						
	浦臼町						
冬季除雪事業（他市町へ委託分）	新十津川町	960	960	960	900	900	4,680
町道管理負担金	雨竜町	203	200	200	200	200	1,003
	他						
	合計	3,328	3,424	3,424	3,656	3,656	17,488

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	地域の実情に応じた迅速かつ効率的な除排雪体制を整備し、通勤、通学、産業活動等、市民生活の利便性の向上と冬季の安全対策を図った。
H29 年度の 主な取組	引き続き、地域の実情に応じた迅速かつ効率的な除排雪体制を整備し、通勤、通学、産業活動等、市民生活の利便性の向上と冬季の安全対策を図る。
H30 年度以降の 取組予定	引き続き、地域の実情に応じた迅速かつ効率的な除排雪体制を整備し、通勤、通学、産業活動等、市民生活の利便性の向上と冬季の安全対策を図る。
事業における 課題等	近年の公共事業削減により人員削減が行われ、除雪機械は、購入費、維持費を賄うだけの収益が上がらず、更新もままならない。このような状況から、建設業者の道路除雪事業からの撤退、廃業が懸念されている。また、除雪機械オペレーターの高齢化や技術の伝承も深刻な問題であり、今後の除雪行政への多大な影響が想定される。

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る分野

3. 交流・移住促進

基本目標	圏域外からの転入者数 2,692人（平成27年度） ⇒ 2,826人（平成29年度）
------	---

H28年度の 達成状況	2,486人
----------------	---------------

（1）交流・移住促進

協 定 の 内 容	（取組の内容） 交流及び移住促進のための施設整備及び維持管理を行うとともに、地域の魅力や移住関連情報を一体的に発信し、交流・移住を促進する。
	（甲の役割・滝川市、砂川市） 圏域の地域資源をはじめとする魅力や交流・移住関連情報を発信する。
	（乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） 圏域の地域資源をはじめとする魅力や交流・移住関連情報を発信する。

重要業績 評価指標 （KPI）	中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援事業」の中空知紹介サイトへのアクセス数 37,193回（平成29年1月11日） ⇒ 40,000回（平成30年3月末）
-----------------------	---

H28年度の 達成状況	37,603回
----------------	----------------

Ⅱ-3-（1） ア 交流推進、移住・定住促進

Ⅱ-3-(1) ア 交流推進、移住定住促進

事業内容	地域で育まれた生活文化や固有の風土等を知るために、相互交流に取り組む。また、地域における多様な魅力や暮らしや住まいに関する情報（賃貸物件や空き家情報等）やイベント情報などを各市町がそれぞれ情報発信するほか、北海道移住促進協議会、中空知住み替え支援協議会をはじめとする関係団体と連携し、圏域内への移住を促進するために必要な情報の発信を行うなど、交流・定住人口の増加により、地域の活性化を図る。	
効果	各施策・事業の取組みによって、交流人口の拡大と圏域内への定住促進が期待される。	
役割分担	滝 砂	各自治体が必要な経費を負担する。
	関 係 市 町	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
移住・定住促進業務に要する経費	芦別市	27,376	24,954	25,368	24,361	24,361	126,420
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	芦別市			1,715	700		2,415
北海道移住促進協議会負担金	赤平市	50	50	50	50	50	250
あんしん住宅助成	赤平市	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	赤平市			1,715	700		2,415
住み替え支援事業補助金	滝川市	7,768	10,230	11,567	9,345	9,345	48,255
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	滝川市			29,342	700		30,042
移住定住促進に要する経費	砂川市	633	644	1,602	2,479	2,479	7,837
北海道移住促進協議会負担金	砂川市	50	50	50	50	50	250
ハートフル住まいる推進事業 (取得・改修)	砂川市	23,900	46,220	47,800	47,800	47,800	213,520
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	砂川市			1,715	700		2,415
定住促進事業	歌志内市	3,727	3,050	3,743	6,446	6,446	23,412
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	歌志内市			1,715	700		2,415
まちづくり定住促進対策事業	奈井江町	26,857	42,369	43,438	38,336	38,336	189,336
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	奈井江町			1,715	700		2,415
移住定住奨励金	上砂川町	1,000	4,500	2,400	2,400	2,400	12,700
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	上砂川町			1,715	700		2,415
定住促進事業 (H25～)	浦臼町	5,152	4,354	15,099	56,704	13,304	94,613
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	浦臼町			1,715	700		2,415
定住促進事業	新十津川町	39,600	54,900	54,900	75,485	54,900	279,785

安心すまいる助成事業 (H24～)	新十津川町	5,300	4,150	25,000	25,000	25,000	84,450
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	新十津川町			1,715	700	0	2,415
定住促進事業	雨竜町	9,200	9,800	14,400	18,280	18,280	69,960
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	雨竜町			1,715	700		2,415
	合計	160,613	215,271	300,194	323,736	252,751	1,252,565

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28年度の 主な取組実績	地方創生推進交付金を活用し、5市5町が連携し、中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業を実施した。
H29年度の 主な取組	地域づくり推進交付金を活用し、5市5町が連携し、中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業を実施する。
H30年度以降の 取組予定	引き続き、各施策・事業の取組みによって、交流人口の拡大と圏域内への定住促進を図る。
事業における 課題等	住み替え支援制度を利用を希望する子育て世帯等の問い合わせは多く、需要は大きい。更なる魅力ある中古住宅の発掘が重要であり、広域化による中空知の取組みとして、移住定住者向けに中古住宅を提供していきたい。

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る分野

4. ICTインフラ整備

基本目標	ICTインフラ整備に係る広域的な取組・検討件数 0件（平成27年度） ⇒ 3件（平成29年度）
------	--

H28年度の 達成状況	0件
----------------	----

(1) 行政システムのネットワーク

協 定 の 内 容	（取組の内容） 電算システムの行政事務を共同処理することにより、行政サービスの向上と事務の効率化を進めるとともに、事務経費の縮減を図る。
	（甲の役割・滝川市、砂川市） 関係市町とともに、広域連携が可能な行政事務の共同化を検討し、その実現を図る。
	（乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） 関係市町とともに、広域連携が可能な行政事務の共同化を検討し、その実現を図る。

重要業績 評価指標 （KPI）	住民一人当たりの戸籍証明発行までの待ち時間（電算共同システムの共同運用による住民の戸籍証明発行までの待ち時間の削減） 約7分（平成24年度） ⇒ 約3分（平成29年度）
-----------------------	---

H28年度の 達成状況	約2.7分
----------------	-------

Ⅱ-4-(1) ア 電算システムの共同運用

Ⅱ-4-(1) ア 電算システムの共同運用

事業内容	戸籍電算システムの共同運用により、住民サービスの向上と事務の効率化並びにシステム導入・維持管理経費の軽減につながるほか、さらなる行政事務の電算システムの共同化に向けた検討、情報交換を行う。	
効果	圏域の自治体個別でシステムを導入する場合に比較して経費削減が図られるとともに、システムの導入により戸籍の作成までの日数や戸籍証明書の発行時間が大幅に短縮されたことにより、住民サービスの向上が図られる。	
役割分担	滝砂	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務を滝川市が受託し、砂川市は関係市町とともに同事務に関する事務を滝川市に委託する。また、引き続き、広域連携が可能な電算システムの共同化に向けての情報交換・調査検討を行う。
	関係市町	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務を滝川市に委託する。また、引き続き、広域連携が可能な電算システムの共同化に向けての情報交換・調査検討を行う。
補助制度等	普通交付税の単位費用	

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
共同運用	芦別市	3,460	3,438	3,440	3,441	3,441	17,220
共同運用	赤平市	3,185	3,169	3,171	3,172	3,172	15,869
共同運用	滝川市	4,299	4,274	4,531	4,480	4,531	22,115
共同運用	砂川市	3,123	3,107	3,109	3,110	3,110	15,559
共同運用	歌志内市	2,698	2,686	2,688	2,688	2,688	13,448
共同運用	奈井江町	3,022	2,315	2,317	2,317	9,687	19,658
共同運用	上砂川町	2,412	2,402	2,404	2,405	2,405	12,028
共同運用	浦臼町	1,970	1,964	1,966	1,966	1,966	9,832
共同運用	新十津川町	2,480	2,479	2,589	2,590	2,479	12,617
共同運用	雨竜町	2,010	2,003	2,005	2,005	2,005	10,028
	他						
	合計	28,659	27,837	28,220	28,174	35,484	148,374

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	戸籍電算システムの共同運用により、住民サービスの向上と事務の効率化並びにシステム導入・維持管理経費の軽減を図った。
H29 年度の 主な取組	引き続き、戸籍電算システムの共同運用により、住民サービスの向上と事務の効率化並びにシステム導入・維持管理経費の軽減を図るほか、さらなる行政事務の電算システムの共同化に向けた検討、情報交換を行う。
H30 年度以降の 取組予定	引き続き、戸籍電算システムの共同運用により、住民サービスの向上と事務の効率化並びにシステム維持管理経費の軽減を図り、電算システムの次期更新に向けた検討、情報交換を行う。
事業における 課題等	平成 30 年度の機器等の更新に係る準備。

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

1. 人材育成

基本目標	職員合同研修参加者数 157名（平成27年度） ⇒ 160名（平成29年度）（毎年度同程度）
------	---

H28年度の 達成状況	158名
----------------	------

（1）職員研修及び大学を活用した人材育成

協 定 の 内 容	（取組の内容） 圏域職員の資質及び政策課題への対応力等を高めるとともに、職員間のネットワークを強化するため、合同研修を実施する。 また、大学等の高等教育機関等との協働連携事業を検討し、実施する。
	（甲の役割・滝川市、砂川市） 乙と連携して合同研修を実施する。必要に応じ、研修の講師として外部から専門家の招へいを行う。 また、大学等の高等教育機関と関係市町とが協力して、企画立案した連携事業を実施する。
	（乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） 職員を合同研修会に参加させるとともに、応分の経費を負担する。 また、大学等の高等教育機関と関係市町とが協力して、企画立案した連携事業を実施する。

重要業績 評価指標 （KPI）	國學院大學北海道短期大学部オープンカレッジ参加者数 121人（平成27年度） ⇒ 130人（平成29年度）
-----------------------	--

H28年度の 達成状況	110人
----------------	------

- Ⅲ-1-(1) ア 職員研修
イ 大学を活用した人材育成

Ⅲ-1-(1) ア 職員研修

事業内容		圏域職員の資質および政策課題への対応力等を高めるとともに職員間のネットワークを強化するため、合同研修を実施する。
効果		圏域における合同研修会の開催によって、職員の資質向上と職員間のネットワークが構築される。
役割分担	滝砂	乙と連携して合同研修を実施する。 必要に応じ、研修の講師として外部から専門家の招へいを行う。
	関係市町	職員を合同研修会に参加させるとともに、応分の経費を負担する。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
職員研修に要する経費	芦別市	4,196	3,610	3,679	3,414	3,414	18,313
職員研修旅費、講師謝礼	赤平市	413	670	667	781	781	3,312
職員の研修に要する経費	滝川市	7,833	7,123	6,443	2,939	2,939	27,277
職員研修に要する経費	砂川市	2,341	2,493	3,614	3,161	3,161	14,770
職員研修に要する経費	歌志内市	389	452	752	798	798	3,189
職員の研修に要する経費(旅費)	奈井江町	1,980	2,879	2,913	2,933	2,933	13,638
人材育成事業	上砂川町	28	331	512	625	625	2,121
職員研修旅費	浦臼町	936	1,245	1,432	1,238	1,238	6,089
職員研修事業	新十津川町	4,801	5,057	5,056	5,013	5,013	24,940
職員研修に要する経費	雨竜町	863	917	1,352	1,359	1,359	5,850
	合計	23,780	24,777	26,420	22,261	22,261	119,499

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。30年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	<p>5.17-18 接遇研修「接遇とコミュニケーション」 講師 阿部みどり 氏 参加 60 名</p> <p>6. 8 行政不服審査法改正研修 講師 (一社) 日本経営協会北海道本部 札幌大学教授 藤巻秀夫 氏 参加 36 名</p> <p>7.20 マイナンバー法含む情報セキュリティ研修 講師 (株)HARP 企画営業部マネージャー 玉田裕一 氏 参加 29 名</p> <p>10.11 人事評価制度研修(評価者用) 講師 (一社) 日本経営協会北海道本部 五十嵐 仁 氏 参加 33 名</p>
H29 年度の 主な取組	<p>引き続き合同研修会を開催することにより、職員の資質向上と職員間のネットワーク構築を図る。 また、新たな共通課題が発生した場合、構築された職員間のネットワークを活用し課題解決を図る。</p>
H30 年度以降の 取組予定	同上
事業における 課題等	特になし。

Ⅲ-1-(1) イ 大学を活用した人材育成

事業内容		大学等の高等教育機関との各市町もしくは広域圏協働による連携事業を検討し、実施する。
効果		大学等の高等教育機関の知的財産を活用することにより、地域文化、地域福祉、地域産業、生涯学習など様々な分野で地域をけん引する多様な人材の育成が図られる。
役割分担	滝 砂	高等教育機関等と関係市町間（広域圏含む）で連携事業を検討・実施する。
	関 係 市 町	高等教育機関等と関係市町間（広域圏含む）で連携事業を検討・実施する。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
	芦別市						
	赤平市						
國學院大學北海道短期大学部連携事業	滝川市	1,000	1,500	1,500	1,500	1,500	7,000
	砂川市						
	歌志内市						
	奈井江町						
	上砂川町						
	浦臼町						
	新十津川町						
	雨竜町						
	他						
	合計	1,000	1,500	1,500	1,500	1,500	7,000

※各年度別の事業費は予算額を記載しています。29年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H28 年度の 主な取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 國學院大學北海道短期大学部オープンカレッジ講座を実施（12 講座 121 名参加） ・ 國學院大學北海道短期大学部による出張講座等の対象を中空知圏域の市町（地域）に拡大 ・ 社会人入学者奨学制度、長期履修制度（3・4 年コース）の実施
H29 年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 國學院大學北海道短期大学部オープンカレッジ講座を実施（15 講座） ・ 國學院大學北海道短期大学部による出前講座（講師派遣）のPRを実施 ・ 社会人入学者奨学制度、長期履修制度（3・4 年コース）の実施
H30 年度以降の 取組予定	同上
事業における 課題等	広域的な参加者の拡大